

① 日常に潜む現場のムダ発見

- 1) ムダを思い出してみる
 - 個人で、そしてグループでリストアップ
- 2) 頭で考えても思い出しても難しいのはなぜか？
- 3) ムダを探し出すための、チェックリスト活用のやり方
 - 写真よりもイラストの方がわかりやすい!?

② 動作経済の4原則からのヒント

- 1) 動作の数を減らす、同時に行う、距離を短く、楽にする
- 2) さらに細かく観る
 - 足 ● 手 ● 眼 ● モノ ● 機械・設備
- 3) 作業姿勢(エルゴノミー)評価表を使ったムダ発見のやり方

③ コンセプト評価表を使ったムダ発見の着眼点

- 1) 組立・調整・検査ラインの工程を12項目に細分化する
- 2) 各項目を「0」「1」「2」「3」の4段階評価にランク分けする
 - 例: 0=全くダメ、1=ダメ、2=まあ良い、3=良い

- 3) 1つの工程を12項目で当てはまるものすべてを評価
- 4) ライン全体を100点満点で指数評価

④ 時間観察でムダを発見する標準作業ツール

- 1) 標準というモノサシを使ってムダや異常を発見
- 2) 標準作業の6つのツールの紹介
 - 時間観察用紙 ● 標準作業票 ... etc.
- 3) 実際に時間観察をしてみよう
 - 時間のバラツキがムダを顕在化させる
- 4) ワイガヤ方式で問題点と改善点を出し合う

⑤ アイデア出しに困った時のヒント

- 1) 絵とき30のヒントの解説
- 2) コストを意識してみる
 - 例: 1歩≒1m≒1秒≒1円、人の分チャージ、1㎡/月
- 3) 身近な改善事例の紹介
 - 例: 製造ラインのムダの列記、間接部門のロス一覧表